

UBEマシナリー



UNKS-E型セパレータ搭載のUM46.4SR

宇部興産機械は、2022年4月より「UBE（ユービーイー）マシナリー株式会社」に社名変更し、培ってきたDNAを受け継ぎながら新たな一歩を踏み出したところである。UBE堅型ミルもこれまでの実績を基に、市場やお客様の多様なニーズに応えながら進化を続けている。

高炉セメントは化学抵抗性や耐海水性が高く、原料となる高炉スラグが副産物であることから環境負荷の低いセメントとして活用拡大が期待されている。一方で使用される高炉スラグは微粉末にしなければならぬため、粉碎工程では多くの電力を必要とする。このため、近年では効率的に

微粉碎ができる堅型ローラミルが選択され、粉碎工程でのCO₂削減に貢献している。

UBE堅型ミルはスラグ粉碎だけで国内外に60台の納入実績があり、主に中国向けに納入したUM46・4S（90T/H）をはじめ、大型のUM56（4S（135T/H）、更新していただいた事例

国内においても、電力原単位改善目的で既設のポールミルからUBE堅型ミルUM35・4SRへ更新していただいた事例

じ能力でダウンサイジングした6ローラミルのUM43・6SRも豪州他に納入しており、多くのラインナップでお客様の多様なニーズに対応している。

スラグ粉碎の効率化を実現する

UBE堅型ミル

もあり、その省エネ性能へ高い評価を頂いている。

スラグ粉碎用の堅型ミルとして多くのお客様がUBEを選ばれ理由として「2WAYシステム」というユニークな粉碎技術があげられる。この「2WAYシステム」とは、粉砕用の「メインローラ」と層厚を安定させる「サブローラ」を組み合わせさせたシステムであり、スラグ粉碎ミルで最も懸念される高い振動の発生による設備停止を無くし、安定した低消費電力による高効率な運転を実現している。更にミル内の気流解析を基に新たに開発したUNKS-E型セパレータを搭載し、更なる電力原単位の改善を図っている。（※添付図参照）

おいては、設備の老朽化対策や省エネへの対応が課題となっており、高効率な堅型ミルへの更新構想がある。しかし、立地スペースや投資効果を理由に、具体的計画が進められていないケースがあり、UBEマシナリーではお客様と一緒に設備仕様や配置計画を検討し、堅型ミルへの更新提案を行っている。

また、省エネ補助金制度を検討されているお客様には、改造による効果を具体化して提示するなど、お客様の設備近代化計画への支援も行っている。

UBEマシナリーはアフターサービスにおいて、設備の状態を復元維持する「リペアサービス」、運転性能を最大限に発揮させるための「コンサルティングサービス」、更に性能を拡大する「アップグレードサービス」などを積極的に提案しており、これらもお客様の多様なニーズに対応していく所存である。

国内のセメント工場に

■ □ ■ 高炉セメント特集 ■ □ ■